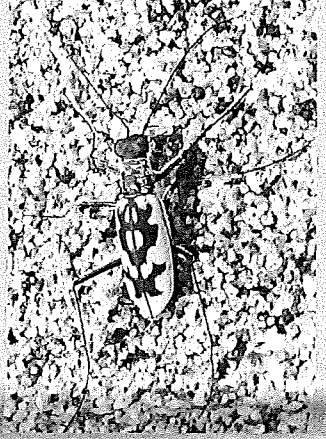
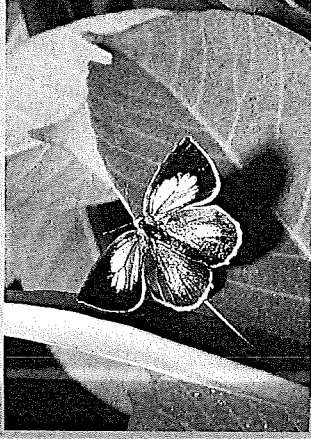
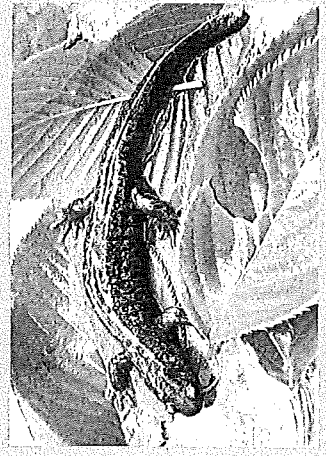


改訂 しまね レッドデータブック 2014 動物編

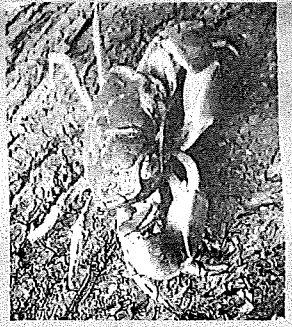
島根県の絶滅のおそれのある野生動物



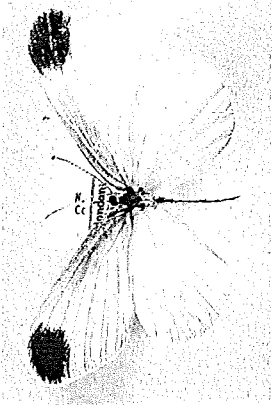
改訂 しまね レッドデータブック 2014 動物編 島根県の絶滅のおそれのある野生動物 島根県

改訂 しまね レッドデータブック 2014 動物編

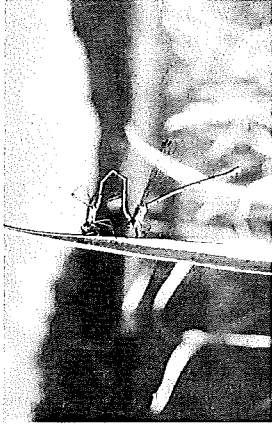
島根県の絶滅のおそれのある野生動物



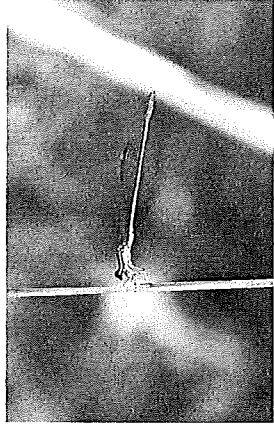
昆虫類



ヒメシロチヨウ 絶滅 106ページ



コハネアオイトトンボ 絶滅危惧I類 107ページ



モートンイトトンボ 絶滅危惧I類 107ページ



ヒロシマサナエ 絶滅危惧I類 108ページ



マイロアカネ 絶滅危惧I類 108ページ



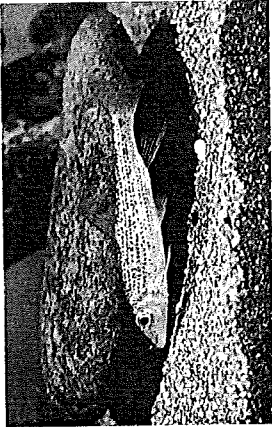
コカワゲラ 絶滅危惧I類 109ページ



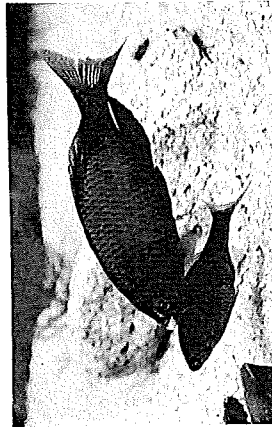
カワラハッタ 絶滅危惧I類 109ページ



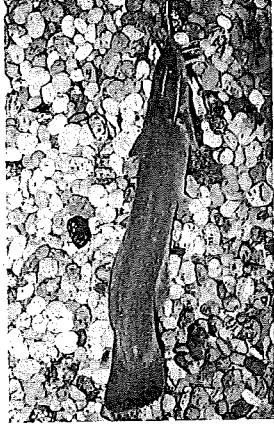
タガメ 絶滅危惧I類 110ページ



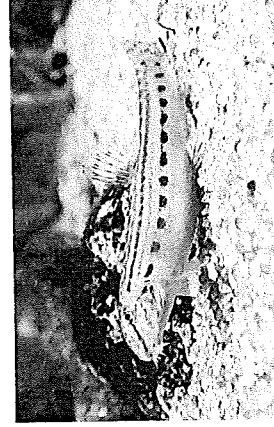
スナガニゴイ 準絶滅危惧 91ページ



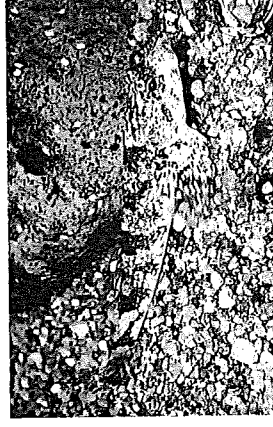
アブラボ子 準絶滅危惧 91ページ



アカザ 準絶滅危惧 92ページ



サンインゴガタスジマドゾウ 準絶滅危惧 91ページ



ウツモミガガ(小卵型・中卵型河川回遊型) 準絶滅危惧 92ページ



アユカケ(カマキリ) 準絶滅危惧 92ページ



カワアナゴ 情報不足 94ページ



オオヨシノボリ 準絶滅危惧 93ページ

トシボ目サエトエト科
ヒロシマサナエ
Davidius moriwanus sawanoi Ashina et Inoue, 1973

【分布理由】
県内からは約50年間記録がなかったが、2007年に益田市で新産地が発見された。現在この産地が、県内唯一の生息地であり、また国内における本種分布域の西限となっている。

【概要】
全長40-46mm。黒地に黄色い条斑を持つ小型のサナエトンボ。日本特産種モイワサナエの西中国地方亜種で、1954年5月に出雲市所原町で採集された1オスが本亜種の国内初記録であり、標本も現在。その後、広島県の八幡高原で多数の生息が確認され、広島産標本に基づき亜種記載された。

【県内での生息地域・生息環境】
中国地方の他県の産地全てが、中国山地の分水嶺付近に形成された高標高 (alt.500-800m) の湿原等を流れる溪流であるが、益田市の生息地は低標高 (alt.100m) 前後の里山の環境の溪流であり貴重。同様の環境は周辺

生息地域	山地地域	里地域	川川	湖沼	海岸地域
東部	○	○	○	○	○
中部	○	○	○	○	○
西部	○	○	○	○	○
隠岐	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○	○	○	○
森林	○	○	○	○	○
草原	○	○	○	○	○
農地	○	○	○	○	○
河川	○	○	○	○	○
湖沼	○	○	○	○	○
平野地域	○	○			

カメムシ目トゲアワフキ科 ムネアカアワフキ *Hindoloides bipunctata* (Haupt, 1923)

[分布理由] 本科は熱帯地方に多く、日本産は2属2種。幼虫は石灰質の巣を寄主上につくる。生息地は全国的に限られ、中国地方での記録も少ない。
[観察] 体長(翅端まで)オス4mm、メス5mm。オスは小楯板が赤色で他は一概に単色。メスは前胸背も赤色。前翅は黒色で、先端部は膜質。国内では本州・四国・九州・南西諸島、国外では台湾・中国に分布し、ソメイヨシノなどのサクラ類を寄主とする。成虫は4~5月ごろ現れる。

カメムシ目ゼミ科 チツチゼミ *Kosemia radiator* (Uhler, 1896)

[分布理由] 本州のゼミでは最小であり、耳つけにくく、里山的環境に適応した種だが、個体群動態の把握が難しい。
[観察] 体長27~32mm、閉張48~57mm、メスがやや大きい。体は黒色、体表には銀灰色の鱗毛を有する。腹面の大部分は黄褐色。成虫は関東東部平地では8月中旬から11月上旬にかけて現れる。産卵はツツジ類などの枝中に行う。日本特産種で北海道・本州・四国・九州に生息する。

カメムシ目ハネビロウ科 キスジハネビロウカ *Rhotana satsumana* Matsumura, 1914

[分布理由] 山地の広葉樹林で得られるが、生息地が局限され、個体数も少ない。
[観察] 体長3.5mm、翅端まで7mm。体は淡黄褐色で、前翅は著しく広く大きい。前翅には外縁に平行した暗黄色帯をもつ。詳しい生息地は未詳であるが、カンランを吸汁している観察記録がある。国内では本州・四国・九州、国外では中国に分布する。

カメムシ目アリツカウカ科 アリツカウカ *Tetigometra bipunctata* Matsumura, 1900

[分布理由] 幼虫がアリの巣に共生するという特異な習性を持つ。本科、本属の日本産の種は他に1種のみで、個体数も少ない。
[観察] 体長(翅端まで)5mm、ふつうのウカカに比べて体幅が広い。体や前翅は淡褐色で、暗赤褐色と赤色の顆粒を散布する。本州のみから知られる希種で、幼虫はアリの巣内で生活するという。

島根県：情報不足 (DD) 島根県固有評価：— 環境省：—

ふ化した幼虫は巻き貝状の巣を作る。
[分布理由] 産地は出雲部から石西部にかけて点在するが、個体数は少ない。おもに里山の環境の植栽されたサクラ樹で発見される。隠岐諸島では未記録。
[寄主植物(かす原因)] 里山の環境の開発、殺虫剤散布、大気汚染など。

島根県：情報不足 (DD) 島根県固有評価：— 環境省：—

[国内での生息地域・生息理由] 平地の公園などで鳴き声などの生息情報は多い。隠岐諸島でも確認されている。小型で採集しにくく、発生状況の把握が困難である。
[寄主植物(かす原因)] 二次林的環境の破壊、または放置、竹林などへの移行。

島根県：情報不足 (DD) 島根県固有評価：— 環境省：—

[国内での生息地域・生息理由] 県中部から東部の中国山地沿いの3カ所で得られている。
[観察] 広葉樹を主体とする自然林の破壊や分断。

島根県：情報不足 (DD) 島根県固有評価：— 環境省：—

[国内での生息地域・生息理由] 県中部の中国山地林縁部の1カ所で記録されている。
[寄主植物(かす原因)] 広葉樹を主体とする自然林の破壊や分断。

カメムシ目マルウカ科 キボシマルウカ *Ishiharanus Iguchi* (Matsumura, 1916)

[分布理由] 生息地が局限され、個体数も少ない。
[観察] 体長(翅端まで)5mm。半球形で前翅は橙色に黒褐色の斑紋があり、ある種のテントウムシに似ている。ナガバノヤブメオなどのイラクサ科植物に寄生する。国内では本州・四国・九州・対馬、国外では中国に分布する。
[国内での生息地域・生息理由] 県内の数カ所で記録があり、隠岐諸島にも産する。林縁部の草地で得られる。

カメムシ目マルウカ科 カタビロクサビウカ *Issus harumensis* Matsumura, 1913

[分布理由] アカマツやオズなどの針葉樹につく希種とされ、県内における生息記録は少なく、アカマツ林の衰退の指標となる。
[観察] 体長(翅端まで)8mm程度のウカカのなかまである。頭部は黄褐色、体は黒褐色でやや扁平。前翅の幅は広く後方に向かってやや狭くなる。前翅の膨出部には白帯がある。本州と四国に分布する。詳しい生息地・分布はあきらかでないが、発生期は6月初旬らしい。

カメムシ目アオハゴロモ科 キノカワハゴロモ *Atractis formosana* Jacobi, 1915

[分布理由] 最近本州で分布が確認された南方系の種であり、アトと共生するなど独特の生活様式をもつ同翅類である。
[観察] 体長(翅端まで)7mm程度のアオハゴロモの仲間。体は扁平で軍配型。緑色の地に暗黒色の斑紋が全体にあり、樹皮に似ている。視眼はよく発達し側方に突出する。成虫は各種の広葉樹上に見られ、幼虫は樹皮下で生活し、ヤマアリのなどのアトに保護されている。南西諸島に分布するが、1990年代後半に九州から山口県、千葉県の数カ

カメムシ目ハゴロモ科 スケバハゴロモ *Eurcacia fascialis* (Walker, 1858)

[分布理由] 自然林の林縁部に生息するが、他のハゴロモ類に比べ、産地も個体数も少ない種である。
[観察] 体長6mm、翅端まで10mm程度のハゴロモのなかまである。体は黒褐色で、前翅は透明で不連続な暗褐色の帯状紋がある。キイチゴ、オウトウ、ブドウ、クワなどを吸汁する。本州・四国・九州に分布する。
[国内での生息地域・生息理由] 中山間地5カ所で確認されているが、隠岐諸島には記

島根県：情報不足 (DD) 島根県固有評価：— 環境省：—

[寄主植物(かす原因)] 広葉樹を主体とする自然林の破壊や分断。

島根県：情報不足 (DD) 島根県固有評価：— 環境省：—

[国内での生息地域・生息理由] 県東部と隠岐(島後)のアカマツをまじえなした丘陵地で生息が確認されている。他にも、やや急峻な丘陵地のアカマツ林で、市街化していない地域に生息しているものと思われる。
[寄主植物(かす原因)] 森林伐採やアカマツ林の遷移、「枯れれ予防」と称する殺虫剤散布。

島根県：情報不足 (DD) 島根県固有評価：— 環境省：—

所で採集されている。県内では1999年に東部低山地で確認され、その後西部の山間で多数採集されている。
[国内での生息地域・生息理由] 山間の谷沿いの雑木林(クリー-コナラ林)などに生息する。
[寄主植物(かす原因)] 開発に伴う森林破壊や、殺虫剤散布など。

島根県：情報不足 (DD) 島根県固有評価：— 環境省：—

録がない。
[寄主植物(かす原因)] 開発に伴う森林破壊や殺虫剤散布など。